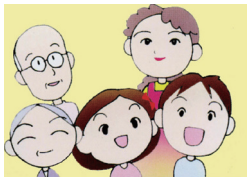
4 未来の大牟田



よい環境をつくるために、何ができるだろう？それはむずかしいことではありません。

エコ行動（環境にやさしい行動）を進めましょう。

（1）みんなでやろう！エコ行動

家庭や学校でエコ行動に取り組もう。

エコ行動チェック表

※ エコ行動ができている場合は、チェック欄に○をつけてください

No.	項　　目	チェック
1	使っていない部屋の明かりは、こまめに消している	
2	パソコンやテレビなど、使ってないときはコンセントをぬいている	
3	冷暖房は、夏は 28℃、冬は 20℃を目安に設定している	
4	冷蔵庫の開閉時間を短くし、つめこみすぎていない	
5	洗顔・歯みがきをするときは、お湯や水を流しっぱなしにしていない	
6	洗剤は使いすぎないように、適量を使っている	
7	近所に出かけるときは徒歩や自転車で、遠くに出かけるときはバスや電車など公共の交通機関を利用している	
8	買い物はマイバックを持って行き、レジ袋はもらっていない	
9	地元で取れた旬のもの（季節に採れる野菜や果物）を地元で消費している[地産地消]	
10	食材は必要なものだけ買い、食べ残しをしていない	
11	食器や鍋などのひどい汚れは、ぼろ布や紙でふいてから洗っている	
12	生ごみは、しっかり水切りをしてから捨てている	
13	使い終えた食用油や生ごみを流しに流さないようにしている	
14	ごみの分別をしっかりしている	
15	リサイクルできるものはリサイクルに出している	

○の数が 12個以上	エコ度ばつぐん！これからもがんばって
6個～11個	もう少しがんばってみよう！
5個以下	しっかりと環境のことを考えてみよう！

（２）環境を守る活動

道路や公園などに落ちている空き缶、空きビン、紙くずなどをひろい集める清そう活動や花だんづくりなど、自然豊かな住みよいまちにしようと、いろんな人たちが環境を守る活動を行っています。

◆ 川や海をきれいにする

「市民に親しまれるきれいな川にしよう」と、身近な川の清そう活動や草刈り、花植えなどを行っている地域のボランティア団体もあります。

海岸のごみを調べる小学生と海上保安官

三池海上保安部では、**未来に残そう青い海**をテーマに、有明海がごみや油などで汚れないよう指導や取りしまりを行っています。また、市民に**海上保安協力員**になってもらい、有明海の環境を守るための活動に参加してもらっています。毎年、小学生と海上保安官がいっしょに海岸でのひょう着ごみ調査を実施しています。

漁業協同組合でも、大切な働く場である有明海の環境を守ろうと、海の清そう活動を行っています。

（３）こどもエコクラブ活動

参考

こどもエコクラブに参加すると、エコクラブ手帳やエコクラブニュースがもらえます。

興味がある人は、市役所の環境保全課（☎41-2721）まで連絡してください。

こどもエコクラブは、２人以上の仲間と大人のサポーターでつくる環境活動クラブです。子どもたちの自主的な環境学習や実せん活動を支援することを目的に環境省がよびかけました。

延命公園自然観察会（H20）

大牟田では、1クラブ28人（平成24年度）の子どもたちが登録し、地域美化活動や学校での環境学習など、さまざまな活動を行っています。

5 大牟田の自然環境

参考

平成13年6月に作成された「大牟田市自然環境調査報告書」によると、植物 820 種以上、ほ乳類 19～20 種、鳥類 114 種、は虫類 13 種、両生類 11 種、こん虫類 1,290 種以上の生き物が確認されています。

みなさんは大牟田の動植物のことをどれだけ知っていますか。

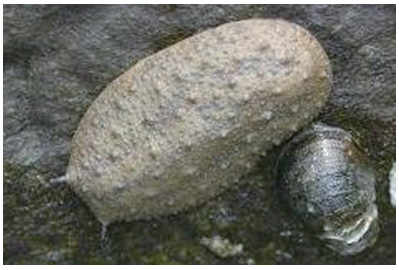
わたしたちの回りには、鳥やこん虫、魚、木や草花などいろいろな生き物が暮らしています。市がまとめた調査報告書によると、その数は2,300種にものぼります。中には、最近あまり姿を見かけなくなった生き物たちや、逆によく見かけるようになった生き物たちもいます。

（1）絶めつしそうな生き物たち　～絶めつ危ぐ種～

開発や気候変動（地球温暖化）の影響、天敵となる外来生物の増加などさまざまな理由で、絶めつの危機にひんしている生き物たちがいます。

大牟田にすむ絶めつのおそれのある種（環境省レッドリストから）

和名：ニッポンバラタナゴ
コイ目コイ科
絶めつ危ぐⅠA類



和名：センベイアワモチ
イソアワモチ目イソアワモチ科
絶めつ危ぐⅠ類

和名：オニバス
スイレン目スイレン科
絶めつ危ぐⅡ類

和名：ベニアジサシ
チドリ目カモメ科
絶めつ危ぐⅡ類

和名：カスミサンショウウオ
サンショウウオ目サンショウウオ科
絶めつ危ぐⅡ類

和名：シオマネキ
エビ目スナガニ科
絶めつ危ぐⅡ類

（２）侵入してきた生き物たち　～特定外来生物～

法 律

※外来生物法

正式名は「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」。

自然環境に悪影響を及ぼす外来生物（特定外来生物）の輸入や、飼育や逃がしたりすることを取りしまる法律。

外国のさまざまな動植物（外来生物）が、ペット用や観賞用に輸入されています。中には、野外に逃げ出したり、捨てられて野性化した結果、本来の自然環境に悪影響を及ぼしているものがいます。このような動植物は、飼ったり逃がしたりすることが**法律**※で禁じられています。

牟田堤（吉野）で大発生した
ブラジルチドメグサ

勝立の道路法面をうめつくす
オオキンケイギク

ペットや観賞用植物は、最後まで責任を持って飼い、野生化させないようにしましょう。

参 考

身近には、以下のような特定外来生物がいます。

- オオクチバス
- ブラジルチドメグサ
- オオキンケイギク
- カミツキガメなど

堂面川（三池）で発見された
カミツキガメ

ワンポイント！

外来生物被害予防３原則

外来生物による被害を予防するため、次の３原則を守りましょう。

1．**入れない**　～悪影響を及ぼすかもしれない外来生物をむやみに日本に**入れない**
2．**捨てない**　～飼っている外来生物を野外に**捨てない**
3．**拡げない**　～野外にすでにいる外来生物は他地域に**拡げない**

（３）自然観察場所

参 考

生物多様性とは、生き物の「個性」と「つながり」のことです。

身近な自然といっても、森林、里地里山、河川、湿原、干潟などいろいろな自然環境があります。

そこには、大型の動植物から小さいこん虫や細菌などの目には見えない微生物まで、いろいろな生き物がそれぞれの環境に適応してくらしています。

また、たとえばノコギリクワガタのあごなどのように、詳しく観察してみると、同じ種でも形や模様、生態などに多様な個性を見ることができます。

これらは全て「生物多様性」の一例です。

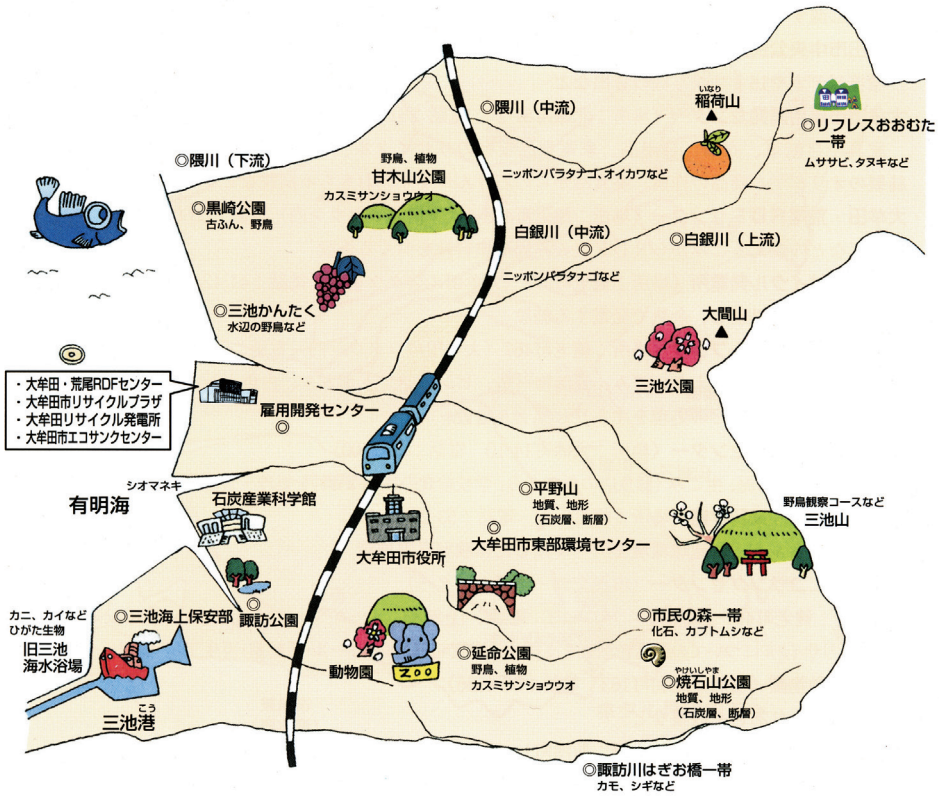
生物多様性のたくさんの恵みによって、わたしたち生き物の「いのち」と「くらし」が支えられています。

わたしたちの身近にいる鳥やこん虫、植物などとの出会いを楽しみに野山などに出かけてみましょう。

自然の中に飛びこみ、**見る・聞く・ふれる**ことで、自然の温かさやさまざまな生き物が生きていること（**生物多様性**）をはだで感じてみてください。

市では、市内の生物調査を行っています。最新の情報については、大牟田市公式ホームページをご覧ください。

公式URL http://www.city.omuta.lg.jp/kurashi/kankyou/sizenkyosei/sizenkankyoutyousa-H23.html



自然観察場所と環境学習施設

ワンポイント！

自然観察のマナー

自然観察を行う場合は、以下のマナーを守り、みんなで楽しく観察しましょう。

- 動植物をむやみにとらず、みんなで観察しましょう。
- ごみは持ち帰りましょう。
- ケガのないように注意しましょう。

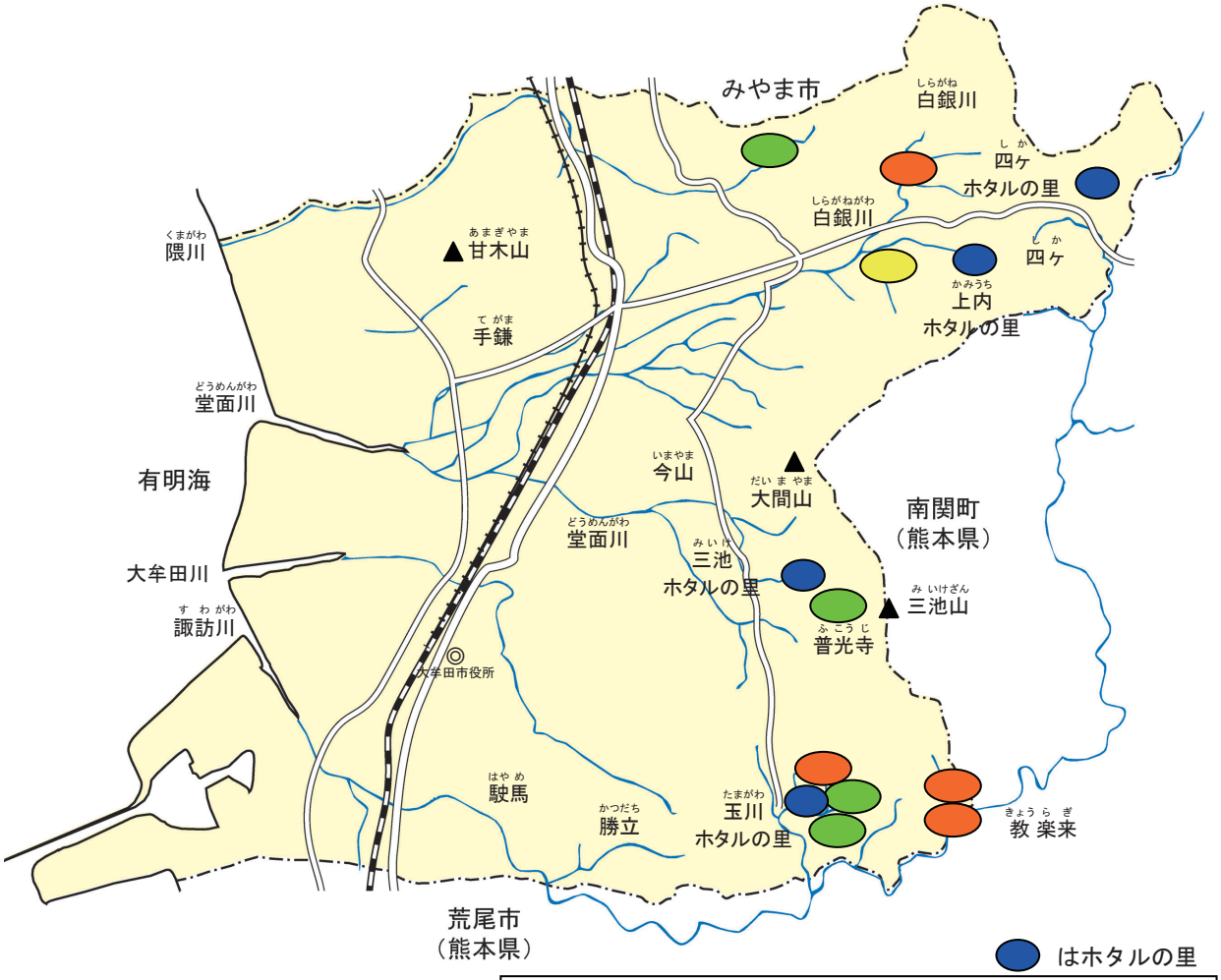
（4）ホタルマップ

ホタルは、昔から夏の風物詩として親しまれてきました。暗い夜にまたたくホタルの光は、わたしたちの心をなごませてくれます。

ホタルを育て、自然保護のボランティア活動をしている三池・玉川・上内・四ケ地域が**ホタルの里**に指定されています。

市では、市民から寄せられた情報をもとに、ホタルスポットを紹介しています。最新の情報については、大牟田市公式ホームページをご覧ください。

公式URL（http://www.city.omuta.lg.jp/kurashi/kankyou/sizenkyosei/hotaru001.html）



ホタル見学の注意

・ホタルは寿命が短い生き物なので絶対にとらない。
・川や畑に入らない。
・おとなの人といっしょに行く。

【生息数】

少ない　やや多い　多い

※ホタルの生息数や発生時期は気候などによって異なります

ホタルマップ（平成19年度企業局調べ）

資料 1　関係課や環境学習施設

環境学習で、わからないことや環境学習施設を見学したいときは、たずねてみましょう。

施設名		内容	住所	電話
大牟田市役所	環境企画課	ごみやし尿に関する計画の作成や、ごみ減量に関する取り組みなど	有明町2-3	41-2738
	環境保全課	空・水の汚れや騒音の監視、浄化槽の普及促進、地球温暖化対策や自然保護など環境基本計画の推進		41-2721
	環境業務課	ごみやし尿の収集、リサイクルの推進など		41-2723
	廃棄物対策課	空き地の除草の指導、草刈機の貸し出し、ごみの不法投棄の監視など		41-2732
	都市計画・公園課	公園の建設や管理、まちの緑を増やし守る		41-2782
	土木管理課	川や水路の管理		41-2788
	産業振興課	大牟田エコタウンプラン（リサイクル施設の誘致など）の推進など		41-2724
	農林水産課	農林水産業の振興など		41-2754
	健康対策課	大気汚染の影響による公害病患者に対する補償など	不知火町1-5-1	41-2669
	企業局	水道管や下水道管の整備、水の給水や生活排水の浄化など	有明町2-3	41-2850
大牟田市 石炭産業科学館		石炭、エネルギー、地球環境をテーマにした体験型学習施設　ホームページ http：//www.sekitan-omuta.jp/	岬町6-23	53-2377
大牟田市 東部環境センター		し尿や浄化槽汚泥、生ごみ(鮮魚店の魚のあら、学校給食の調理くずなど)を処理・資源化(たい肥化)する施設	大浦町14-10	59-3500
大牟田エコタウン	大牟田市 リサイクルプラザ	大型ごみ、燃えないごみ、有害ごみ、資源物をリサイクルできるようにする施設	健老町467	59-1220
	大牟田・荒尾 RDFセンター	燃えるごみから、RDF（ごみ固形燃料）をつくる施設	健老町468	53-0411
	大牟田 リサイクル発電所	RDF（ごみ固形燃料）で発電（サーマルリサイクル）する施設	健老町472	41-4288
	大牟田市エコ サンクセンター	環境とリサイクルについての学習や活動を支援する施設 ホームページ http：//www.ecosanc.or.jp/ecosanc/	健老町461	41-2735
大牟田市立図書館		環境に関する図書、ビデオ、新聞の記事など ホームページ http：//www.libraly.city.omuta.fukuoka.jp/	宝坂町2-2-3	55-4504
リフレスおおむた		キャンプ等の野外活動を始めとした研修やスポーツなど、多目的な活動を行うことができる施設（宿泊可能） ホームページ http://www.rifuresu.omuta.fukuoka.jp/	大字四ヶ1221	58-7777
大牟田市動物園		動物とのふれあいや観察など ホームページ http：//www.omutazoo.org/	昭和町163	56-4526
海上保安庁 三池海上保安部		有明海を汚さないように指導や取りしまりを行い、海洋環境を保全する	新港町1	53-0521

資料２　環境学習会などの専門家

専門家のみなさんといっしょに環境学習を始めてみましょう。

○ 自然保護・環境保全・自然体験活動に関する学習活動の支援ボランティア

分　野	氏名・団体名	おもな指導内容
環境保全	宗正　房子	エコ料理の講義と実習、重曹を使ったそうじ法の紹介
	平山　隆子	リサイクル工作・エコクッキング（おやつ）
	松永　ハルエ	地球環境問題のけい発・リサイクル工作
	おおむた EM エヴァクラブ（代表：吉武　利秋）	有用び生物（EM）を活用した環境浄化活動の学習・指導
自然保護・動植物の観察	柿川　和機	自然観察会を通じた環境学習（環境保全、水辺や干がたの生物、こん虫、野草）
	嶋田　雅俊	大牟田の自然観察（野生植物など）
	中嶋　秀利	大牟田の自然観察（水辺環境、干がた、こん虫と生物の関わり）
	永江　和彦	野鳥の観察会の企画と実施、自然保護
	松永　公幸	自然観察会
	松冨士　将和	自然観察会の企画と実施、野鳥の観察を通した自然保護・環境保全
	矢納　明子	自然観察（植物）

問合せ：大牟田市生涯学習まちづくり推進本部　☎41-2210

○地球温暖化問題に関する学習活動の支援ボランティア

	氏　名	
福岡県地球温暖化防止活動推進員	荒木　陽子	馬場　恵美子

問合せ：環境保全課　☎41-2721

○ 環境学習支援団体

名　称	おもな活動	代表者
大牟田生物愛好会	自然調査、自然保護活動や観察会など	嶋田　雅俊
野鳥の会大牟田グループ	野鳥を中心とした自然保護や観察会など	永江　和彦
ネイチャーガイド・オオムタ「自然案内人」	自然観察会などを通して環境保全の啓発活動	柿川　和機

問合せ：環境保全課　☎41-2721

資料３　市役所の取り組み

大牟田市は、環境にやさしいまちをめざし、いろいろな取り組みを進めています。

○ 大牟田市第2次環境基本計画

大牟田市第2次環境基本計画は、平成14年度から進めてきた大牟田市環境基本計画が計画期間を終えたことから、良好な環境の保全と創造に関する取組を進めていくうえでの指針として、平成23年度に策定されました。「発想、そして工夫 みんなで創る環境都市、おおむた」をめざす環境像として、平成24年度から10年間を計画期間とする、環境分野のマスタープランです。

○ 大牟田市地球温暖化対策実行計画（エコオフィスおおむた21）

大牟田市役所では、地球温暖化を防ぐため、平成14年度に「大牟田市地球温暖化対策実行計画」（エコオフィスおおむた21）を策定し、温室効果ガスの６％削減（平成12年度比）を目標に取り組んできました。平成23年度に計画期間を終えたことから見直しを行い、平成24年度からの新しい取組を進めることとしています。

○ 大牟田エコタウンプラン

ごみをごみとして捨てないで、リサイクルする資源循環型のまちづくりをめざした計画を**大牟田エコタウンプラン**といいます。

RDF 発電所

健老町のエコタウンには、ＲＤＦ（ごみ固形燃料）センター、ＲＤＦ発電所、リサイクルプラザが稼働し、紙おむつや建設廃材、自動車のリサイクル施設なども立地しています。また、環境学習施設として大牟田市エコサンクセンターがあります。

資料４　大牟田市の環境年表

年　代	主なできごと
1916 年 (大正 5 年)	・横須工場群のばいえんにより、農作物に被害が発生する
1920 年 (大正 9 年)	・大牟田川に流れた工場排水によって、有明海の貝などに被害が発生する
1954 年 (昭和 29 年)	・市内 10 か所で降下ばいじんの量をはかりはじめる
1965 年 (昭和 40 年)	・工場からベンゼンが大牟田川に流れて、川が燃える事件が発生する
1970 年 (昭和 45 年)	・市役所に公害課ができる（現在の環境保全課） ・空気の汚れをはかるため、国が市役所の屋上に測定装置を設置する
1973 年 (昭和 48 年)	・ぜん息など公害による被害の救済がはじまる ・大牟田地域公害防止計画をつくる
1974 年 (昭和 49 年)	・大牟田川や大牟田港のヘドロをとりのぞく作業をはじめる（～S50 年）
1975 年 (昭和 50 年)	・工場の共同終末処理場が動きはじめる
1988 年 (昭和 63 年)	・スターウォッチング（星空観察により空気の汚れを調べる）をはじめる
1991 年 (平成 3 年)	・生活排水対策啓発用ビデオ（めだかの詩）をつくる
1992 年 (平成 4 年)	・堂面川流域が生活排水対策重点地域に指定される
1993 年 (平成 5 年)	・堂面川水系生活排水対策推進計画をつくる（～H15 年） ・ごみ散乱防止条例ができる
1995 年 (平成 7 年)	・こどもエコクラブの活動がはじまる
1996 年 (平成 8 年)	・フロン回収をはじめる（～H13 年） ・諏訪川の水を守るため、大牟田市・荒尾市・南関町で合同会議をはじめる ・家庭食用廃油の回収をはじめる（～H14 年）
1997 年 (平成 9 年)	・ホタル観察会をはじめる ・環境アドバイザーの派遣をはじめる
1999 年 (平成 11 年)	・大牟田市環境保全率先行動計画（エコオフィスおおむた 21）をはじめる

2000 年 （平成 12 年）	・サウンドスケープ（よい音さがそう）をつくる ・大牟田川でダイオキシン類が検出される
2002 年 （平成 14 年）	・大牟田市環境基本条例、大牟田市環境基本計画、大牟田市地球温暖化対策実行計画（エコオフィスおおむた 21）をつくる
2004 年 （平成 16 年）	・堂面川水系でコイヘルペスウイルス病によるコイの大量死が発生する ・中国大同市と「草の根技術協力事業」（環境改善技術交流事業）をはじめる
2005 年 （平成 17 年）	・大牟田市全域が生活排水対策重点地域に指定される
2006 年 （平成 18 年）	・大牟田市生活排水対策推進計画（H18～H27 年）をつくる
2007 年 （平成 19 年）	・水素で動く燃料電池自動車の体験試乗会を行う
2009 年 （平成 21 年）	・大牟田市地域省エネルギービジョンをつくる
2011 年 （平成 23 年）	・大牟田市第 2 次環境基本計画をつくる ・大牟田市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）をつくる ・大牟田市地球温暖化対策実行計画（エコオフィスおおむた 21）を見直す
2012 年 （平成 24 年）	・第 1 回大牟田市緑のカーテンコンテスト開催

保護者のみなさまへ

今、私たちの住む地球は、地球温暖化、砂漠化、森林減少など多くの環境問題を抱え、危機に直面しています。環境問題の多くは、公害問題とは異なり、私たち一人ひとりの生活の中に原因があることがほとんどです。

私たち自身が「被害者であると同時に加害者であること」を認識し、環境にやさしい行動を、できることから実践していくことが大切です。

子どもたちは、体験学習をとおして多くのことを学び、豊かな感性と柔軟な発想をはぐくみます。

私たちは、ときには子どもの目の高さで環境問題を一緒に考え、行動してみることも大切ではないでしょうか。

未来ある子どもたちに、人や自然に対する思いやりを持った優しい心と行動が育つために、この本が役立つことを心から願っています。

【表紙の絵】

ふるさとの川や海絵画コンクール２０１２入賞作品

〈海の部〉 銅賞（上学年）：銀水小学校５年 鶴　紗祐里 さん　（上段）

〈川の部〉 銅賞（上学年）：平原小学校４年 島　佳那 さん　（下段）

【裏表紙の絵】

ふるさとの川や海絵画コンクール２０１２入賞作品

〈海の部〉 入賞（下学年）：上官小学校３年 山下　魁太 さん　（左側）

〈川の部〉 入賞（下学年）：中友小学校３年 筒井　美夢姫 さん　（右側）

※　学校と学年は受賞当時

MEMO

おおむた市の木
くぬぎ

おおむた市の花
やぶつばき

発　行　日／平成25年4月
編集・発行／大牟田市環境部環境保全課

〒836-8666　　大牟田市有明町２丁目３番地
TEL：0944（41）2721　　FAX：0944（41）2722
E-mail：kankyouhozen01@city.omuta.lg.jp

ふるさとの川や海絵画コンクール2012入賞作品から

【海の部入賞（下学年）】

【川の部入賞（下学年）】

わたしたちは、三池山（みいけざん）と有明の海にいだかれ、燃（も）ゆる石のふる里に住む大牟田市民です。

わたしたちは、自然と人とのかかわりを大切にし、美しい自然にあふれる住みよいまちづくりをめざし、次のことをおこないます。

1．自然とふれあい　自然を大切にします

2．声をかけあい　環境（かんきょう）にやさしい行動をします

小学校　　年　　組	
名 前	

リサイクル適性 Ⓐ

○この印刷物は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。

○リサイクル適性の表示
この印刷物はAランクの資材のみを使用しており、印刷用の紙にリサイクルできます。